

魅力ある教育活動実践（案） 継続 充実・発展 新規

教育活動		活動内容	H19	H20
千 東	東京都人権尊重教育推進校（濱田）	「I 合い 愛 千束小学校」を研究テーマに、授業改善や日常実践を通じて、保護者や地域にも協力を得て“チーム千束”として人権教育の推進に努める。		
	少人数・TT指導の充実（高野）	算数の全学年全時間及び国語の週1時間、及び理科に少人数・TT体制で臨み、一人一人の意欲や能力に応じた指導を行い、学力の定着・向上を目指す。		
	補充指導の徹底（高野）	学力向上推進ティーチャー及びTAによる放課後や長期休業中の補習教室「千束塾」を通して、基礎・基本の徹底を図る。		
フ ア	全校音読・読書活動・全校スピーチ大会（浦近）	古典や詩の暗唱タイム、朝読書や学級文庫の充実・学年必読書・図書室のリニューアル、自分の思いや考えを発表する場を工夫する等、国語力の向上を図る。		
	各学年の到達目標である千束ミニマム	国語・算数を中心に各学年ごとの到達項目を明示した一覧表（千束ミニマム）を作成し、指導に活かすとともに、通知票の補助簿として保護者に示す。		
	さわやかタイムの改善（濱田）	地域や伝統文化、人権課題に重点を置いた総合的な学習の時間の年間カリキュラムの全面改定を行い、探究型の単元を開発し、課題解決能力を育てる。		
ミ	ICT教育（加藤）	1・2年生のパソコン授業の特設、3年生以上の教科学習での活用、e黒板の利用等を一層進める。		
	英語活動（鈴木）	英語活動の時間を5・6年生は年間26時間、3～4年生は年間18時間、1～2年生は年間15時間確保し、外国人講師と担任による英語活動を進める。		
	心の教育・生活指導の充実（染谷）	千束スタンダード（挨拶・返事・言葉遣い・後片付け）の4点を重点に、規範意識を育て、いじめを許さない・不登校を出さない学級づくりに努める。		
リ	千束わくわくタイム（副校長）	区の放課後子ども広場事業のモデル校として、「わくわくタイム」「千束塾」「生活指導子供会」と4月より新設される「こどもクラブ」の連携・充実を図る。		
	屋上緑化（松本）	屋上の芝生やハイブリッド型発電装置を利用した環境教育の一層の充実や、屋上の多目的活用を検討する。		
	プラスバンド活動、音楽の集い（鈴木）	朝練習と放課後練習、地域のパレードへの参加、本校に在職していた中山晋平先生をしのぶ2月の音楽の集い等を通して、豊かな情操をはぐくむ。		
構	幼稚園と小学校の連携（洞口）	併設する千束幼稚園との交流活動を通じて、子供たちの思いやりの心や自己有用感をはぐくむ。		
	健康・体力の増進（近藤亜）	毎週月曜日の早朝登校とラジオ体操、2学期のマラソン、3学期の縄跳びなど年間を通して体力づくりに努める。23日の全校ノーテレビ・ノーゲームデー。		
	あおぞら班活動（洞口）	幼稚園年長児から6年生までが、学年や年齢の枠を超えた集団での活動を通して、思いやりの心や協力する態度など社会性をはぐくむ。		
想	保護者・地域の教育力（副）	保護者有志による「おやじの会」を立ち上げ、保護者・地域総がかりでの子育て支援に立ち上がる。		

